

# 小学校 外国語科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P45～57

外国語科 事例 1  
 キーワード 指導改善・学習改善, 「聞くこと」「話すこと [やり取り]」における評価,  
 指導の計画から評価の総括まで

単元名

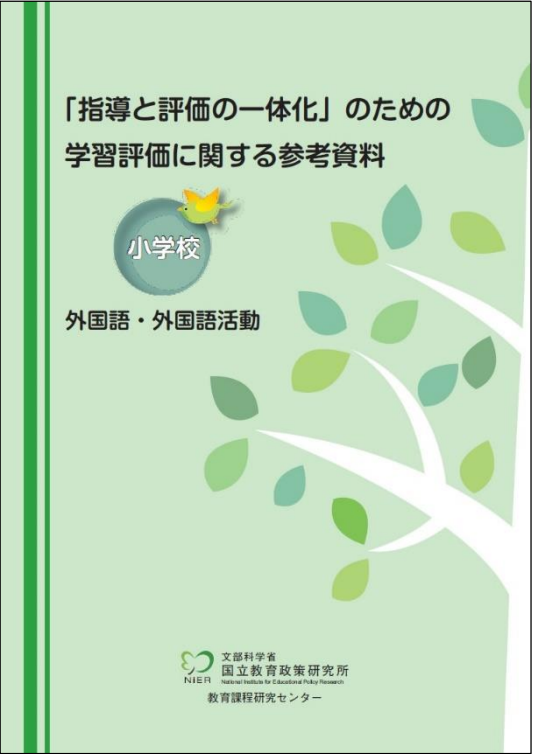
We Can! 1 Unit 2  
 「When is your birthday?」  
 (第5学年)

関係する領域別目標

「聞くこと」  
 イ ゆっくりはっきりと話されれば, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

「話すこと [やり取り]」  
 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

「書くこと」  
 ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

## 1 単元の目標

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

## 2 単元の評価規準(「聞くこと」)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>&lt;知識&gt;            月日の言い方や, I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;            誕生日や好きなもの, 欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手のことをよく知るために, 誕生日や好きなもの, 欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために, 誕生日や好きなもの, 欲しいものなど, 具体的な情報を聞き取ろうとしている。
		<p>文末のみが異なっている</p> <p>~聞き取っている。</p>	<p>~聞き取ろうとしている。</p>

基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価

### 3 評価の具体例(「聞くこと」)

#### 第5時「思考・判断・表現(思判表)」

#### 「主体的に学習に取り組む態度(態度)」の評価

##### 【「聞くこと」の記録に残す評価】

- ◎相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。〈行動観察・テキスト記述分析〉
- ◎相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。〈行動観察・テキスト記述分析〉
- ・児童が聞き取る様子やテキストの記述を分析し、評価の記録を残す。

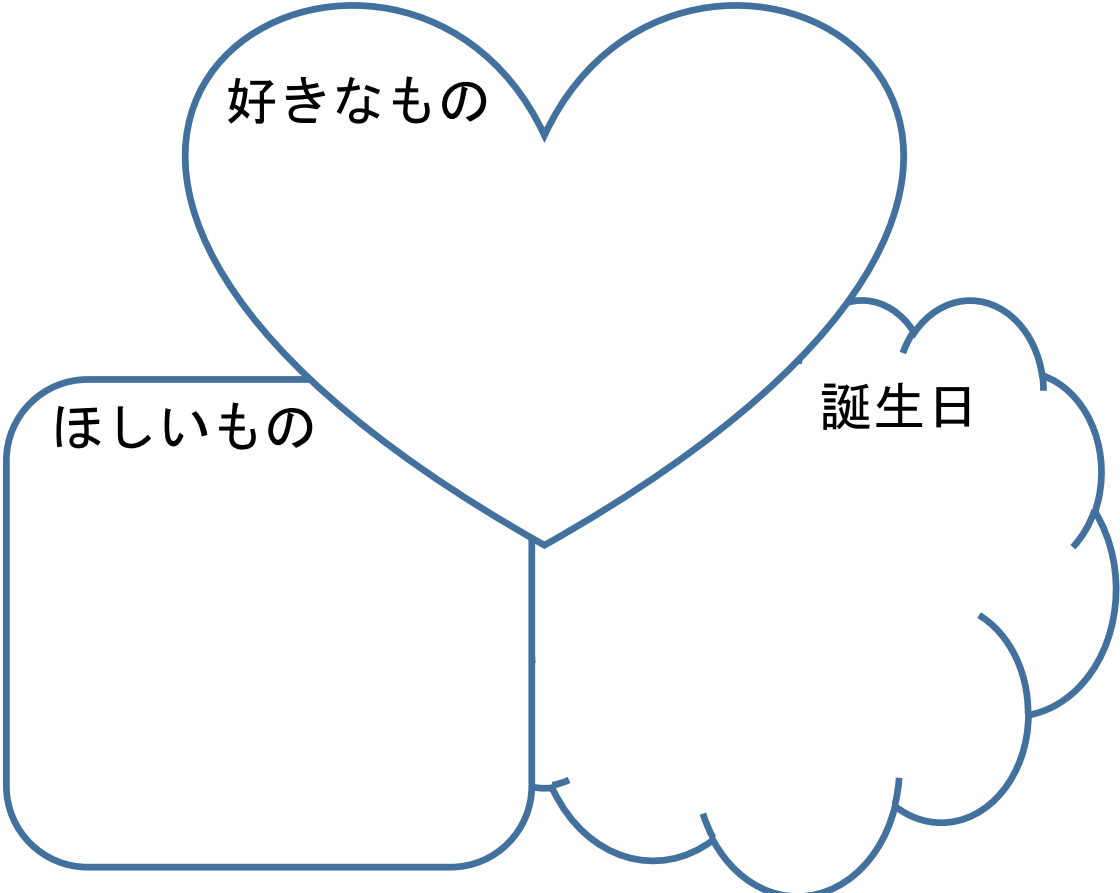
(思判表)聞き取っている  
→聞き取った内容が適切である

(態度)聞き取ろうとしている  
→聞き取った内容が適切であるかどうかを問わず、「聞き取ろうとしている」態度が見られる

### 3 評価の具体例(「聞くこと」)

以下の内容を聞き取り、児童の記述内容や行動観察で評価した例

#### 【児童のワークシート】



(Lakshについてわかったことを空欄に書く)

けんた: Hello, Laksh. When is your birthday?  
 ラクシュ: Hi, Kenta. My birthday is June 28th.  
 けんた: Oh, it's this month. What do you want for your birthday?  
 ラクシュ: I want an umbrella.  
 けんた: Really? An umbrella for your birthday? What color?  
 ラクシュ: I like yellow. I want a yellow umbrella for my birthday.  
 けんた: Oh, I see. What sport do you like, Laksh?  
 ラクシュ: I like swimming.  
 けんた: How about food? What food do you like?  
 ラクシュ: I like donuts very much.  
 I want a donut party for my birthday.  
 けんた: A donut party? Great! ※We Can! 1 指導編 P21より

### 3 評価の具体例(「聞くこと」)

「思判表」「態度」を「おおむね満足できる」状況(b)と評価する例

#### 【児童の記述例】

好きなもの

・水泳

誕生日

ほしいもの

・かさ  
・ドーナツ

・6月28日

「思判表」・・・(評価規準にあるとおり)誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取っている。

※「誕生日」「好きなもの」「ほしいもの」の全ての項目について、それぞれ1つ以上具体的な情報を聞き取っている。  
⇒どこまで聞き取れたら(b)とするかは、評価規準に照らし、各学校で決定する。

・「態度」は、基本的に「思判表」と一体的に評価する(ここでは同じ(b)とする)。

### 3 評価の具体例(「聞くこと」)

「思判表」「態度」を「努力を要する」状況(c)と評価する例

#### 【児童の記述例】

好きなもの

・水泳

ほしいもの

・黄色い  
もの

具体的ではない

誕生日

・7月28日

不正確な聞き取り

「思判表」・・・「誕生日」「好きなもの」「ほしいもの」について、具体的に聞き取れていない(いずれかの項目に聞き取りが不十分なものが見られる)。

・「態度」は、基本的に「思判表」と一体的に評価するが、具体的な情報を聞き取るうとする態度が実際に見られれば、(b)とすることもあり得る(記述のみで判断せず、実際の様子から見取る)。

### 3 評価の具体例(「聞くこと」)

「思判表」「態度」を「十分満足できる」状況(a)と評価する例

#### 【児童の記述例】

好きなもの

- ・黄色
- ・水泳
- ・ドーナツ

誕生日

ほしいもの

- ・黄色いかさ
- ・ドーナツ
- パーティー

・6月28日

「思判表」・・・「誕生日」を具体的に聞き取るとともに、「好きなもの」「ほしいもの」について、それぞれ2つ以上具体的な情報を聞き取っている。⇒どこまで聞き取れたら(a)とするかは、評価規準に照らし、各学校で決定する。

・「態度」は、基本的に「思判表」と一体的に評価する(ここでは同じ(a)とする)。



## 4 単元の評価規準(「話すこと[やり取り]」)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	<p>&lt;知識&gt; 月日の言い方や, I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want? When is your birthday?, その答え方について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 誕生日や好きなもの, 欲しいものなどについて, I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want ~? When is your birthday?等を用いて, 考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために, 自分や相手の誕生日や好きなもの, 欲しいものなどについて, お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために, 自分や相手の誕生日や好きなもの, 欲しいものなどについて, お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>
		<p>~伝え合っている。</p>	<p>~伝え合おうとしている。</p>

文末のみが異なっている

基本的に「思考・判断・表現」と一体的に評価

## 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

### 第7時「思判表」「態度」の評価

やり取りの例

S1: Hello!

S1: When is your birthday?

S1: I'm sorry. I don't have your card. Goodbye.

S1: Hello!

S1: When is your birthday?

S1: March 14th. Oh, this is your birthday card.

(カードはまだ渡さず、カードに描かれているものについて S1 が S2 に尋ねる)

S1: Do you like blue and white?

S1: I like yellow. Do you like table tennis?

S1: Me, too! I like table tennis. It's fun.

You want a new T-shirt for your birthday?

S1: This is for you. Here you are. Happy birthday!

(S1 が S2 にバースデーカードを渡す)

S2: Hello!

S2: My birthday is February 15th.

S2: Goodbye.

S2: Hello!

S2: My birthday is March 14th.

S2: Thank you very much.

S2: Yes, I do. I like blue very much.

What color do you like?

S2: Yes, I do. I like table tennis.

S2: Yes. I want a new T-shirt!

S2: Thank you very much.

評価の場面  
は、児童が  
作ったバースデーカード  
をとおした  
児童同士の  
やり取りの  
行動観察

## 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

「思判表」「態度」を「おおむね満足できる」状況(b)と評価する例

### 児童5について

(児童5と児童6のやり取りより)

児童5: When is your birthday?

児童6: My birthday is February 2nd.

(児童4と児童5のやり取りより)

児童4: Do you like ... swim?

児童5: Yes, I like swimming.

児童5は、(評価規準にあるとおり)自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。

→「思判表」(b)、「態度」(b)

## 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

「思判表」「態度」を「努力を要する」状況(c)と評価する例

### 児童4について

児童4:..., なんて言うんだったかな。

(指導者に教えてもらって)

When ... is birthday, your birthday?

児童4は、自ら既習語句や表現を用いて相手のことについて尋ねることはできず、指導者に教えてもらうことでやり取りを進めている。 →「**思判表**」(c)

一方、やり取りそのものは、自ら調整しながら粘り強く取り組み、伝え合おうとしている様子が見られる。

→「**態度**」(b)

## 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

「思判表」「態度」を「十分満足できる」状況(a)と評価する例

### 児童6について

(カードに記されたバレーボールの話題の後)

児童6: I like baseball. Do you like baseball?

児童4: Baseball? No.

児童6: OK. I like Ohtani Shohei.

児童4: Oh, Ohtani. OK.

児童6は、カードに記された話題(バレーボール)についてのやり取りにおいて、おおむね満足できる状況が見られ、そのうえ関連した別のスポーツ(野球)について話すなど、プラスして満足できる状況が認められる。

→「思判表」(a)、「態度」(a)

# 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

思考・判断・表現(思判表)	主体的に学習に取り組む態度(態度)
自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

「おおむね満足できる(b)」かどうかは、設定した評価規準を達成しているかどうかで判断する。

- 達成している→(b)
- 達成していない→(c)
- 達成していて、そのうえプラスして満足できる状況が認められる→(a)

## 5 評価の具体例(「話すこと[やり取り]」)

	思考・判断・表現(思判表)	主体的に学習に取り組む態度(態度)
	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
児童4	c	b
児童5	b	b
児童6	a	a

「努力を要する(c)」と評価した児童については、改善点についてアドバイスするなど、その後の手立てを講じる必要がある。

## 6 評価における留意点など

- ・このスライドでは文字で確認しましたが、「聞くこと」「話すこと」などの評価場面は、文字ではなく行動観察などで行うこともあります。そのため、**実際にはよりスムーズに評価**をする必要があります。
- ・各学校で「**おおむね満足できる(b)**」状況（**評価規準**）をしっかりと定め、指導者が一人一人の児童を観察しましょう。それにより、「努力を要する(c)」「十分満足できる(a)」状況も見取ることができます。
- ・また、「話すこと[やり取り]」の評価については、ペアになる相手によって条件が変わることも考えられるため、学期に1回程度、**全児童を対象にパフォーマンステスト**を行い、条件を一定にそろえて見取ることも効果的です。